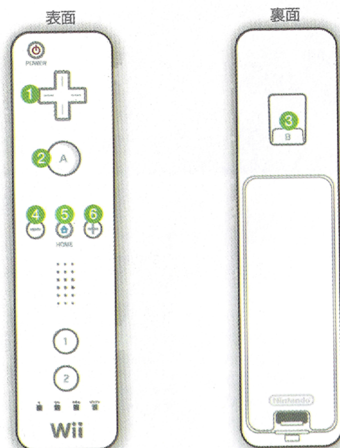
# 手術器具解説

患者に負担をかけずに手際よく執刀を行なうには、
器具を操る精確な技術も必要である。
各手術器具の配置、対応する症状、使用効果などの基礎知識をここで身につけておこう。

## 操作方法

### Wiiリモコンのボタン操作




① ✚ボタン
選択時のカーソル移動

② Ⓐボタン
器具の使用／項目の決定／会話を進める

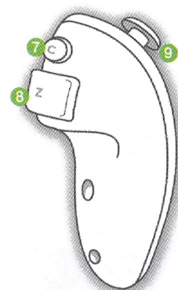
③ Ⓑボタン
器具の使用／各種キャンセル／ひとつ前に戻る

④ ⊖ボタン
会話のスキップ（イベント中、カンファレンス中、手術中）

⑤ HOMEボタン
HOMEボタンメニュー画面を呼び出す

⑥ ⊕ボタン
ポーズメニューを呼び出す

### ヌンチャクのボタン操作



⑦ Ⓒボタン
一部の器具の使用／超執刀発動※

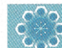
⑧ Ⓩボタン
一部の器具の使用／超執刀発動※

⑨ コントロールスティック
器具の選択／エピソードセレクト画面のスクロール

※エピソードが進行すると使用可能になる



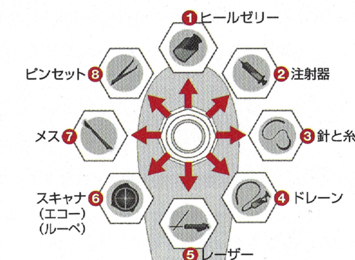




## 器具の配置を把握せよ

基本の手術器具は、右図のようにヌンチャクのコントロールスティックを使いたい器具の方向へ倒すことで選択できる。必要となった器具を瞬時に取り出せるように、この配置を覚えておこう。また、別の方向へ倒さないかぎり、先に選択した器具を使い続けることが可能だ。器具の使い方は、下より始まる各種器具解説で確認するといい。なお、手術器具は基本の8つ以外に、特定のタイミングでのみ出現するいくつかの追加器具や特殊器具も存在する。これらも以降のページで併せて解説しておくことにする。

### 器具の配置




## 各種器具解説



### ①ヒールゼリー ANTIBIOTIC GEL

| 対応症例 | 切り傷の治療<br>縫合痕の消毒 |
|---|---|

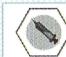
小さな傷を瞬時に治療したり、メスを入れるまえや縫合した傷口の消毒なども行なうことができる万能薬。コントロールスティック上で選択し、Ⓐまたは Ⓑボタンを押すと、Wiiリモコンのポインターカーソルが指している患部周辺に薬を塗りつけることができる。そのままカーソルをスライドさせれば、広い範囲を塗布することも可能だ。なお、ヒールゼリーには、裂傷に塗ることで出血の量を減らしてバイタルの低下を抑えたり、術野を縦横無尽に移動するギルスの動きを鈍らせ、その進路を妨げるといった効果もある。まさに万能な薬だ。

**コマンド**

●患部でⒶまたはⒷボタンを押し続ける




ヒールゼリーはコントロールスティックの上と選択しやすく、効果も多様でさまざまな局面で重宝する。



### ②注射器 SYRINGE

| 対応症例 | 薬剤の投与 |
|---|---|

患者のバイタルを上げる回復剤や炎症を抑える消炎剤、臓器に寄生するギルスを弱らせる特効薬などを投与する際に使用する器具で、コントロールスティックの右上で選択する。注射器を選択すると、画面右下にその手術で使用する薬剤のビンが表示される。そこにカーソルを合わせてⒶまたはⒷボタンを押すと注射器が出現、そのままボタンを押し続けると薬剤を吸入することが可能だ。吸入後は、患部でボタンを押し続けて薬剤の投与を行なう。なお、吸入→投与という2段階の手順を踏むので、処置に時間がかかるという点は覚えておきたい。

**コマンド**

●薬剤の吸引…薬ビン上でⒶまたはⒷボタンを押す
●薬剤の投与…患部でⒶまたはⒷボタンを押す




バイタルを上昇させる回復剤は、ある特定のエピソード以外、術野のどこに投与してもかまわない。